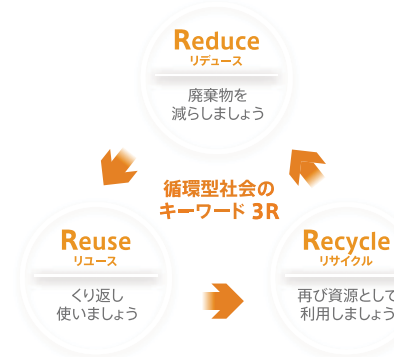


「循環型社会」の実現に向けて リサイクルを進めます

リサイクルにより再び資源となります

近年、地球環境保護への意識がますます高まっています。地球の限りある資源を循環して大切に使い、廃棄物の発生を抑え、環境への負荷が少ない環境と経済が両立した**循環型社会**を作っていくために、卸売市場、資源再生業者、家電業界、流通業界など関係者の皆様と連携・協力のもとJEPSAはリサイクルを推進しています。



リサイクル推進の合言葉
もっともっとリサイクル

発泡スチロールのリサイクルの流れ

大部分の発泡スチロールは、卸売市場やスーパー・デパート、飲食店、電器製品などの販売店、機器メーカーの工場などで容器や緩衝材としての使命を終わります。リサイクルはこれらの**事業系廃棄物の処理が中心**です。排出事業者や資源再生業者のリサイクルが円滑に進むよう、JEPSAではそのシステム作りにも努力するとともに、JEPSAの会員企業が運営する「エプシープラザ」で自らもリサイクルに取り組んでいます。



家庭から出た発泡スチロールはどうするの？

家庭に配達された家電製品などの包装材のほとんどは販売店が持ち帰り、リサイクルされます。そのため家庭に残る発泡スチロールはごくわずかです。家庭から排出する場合は、それぞれの自治体の分別回収基準に従って適切に出してください。プラスチック(含む発泡スチロール)の取扱いは各自自治体の個別の事情により、可燃ゴミ、不燃ゴミ、資源ゴミなどに分かれます。詳しくは→P18



リサイクルにより 再び生活の中で役立っています

発泡スチロールは3つのリサイクル方法で再利用されています

発泡スチロールのリサイクルには現在3つの方法があり、プラスチック製品や熱エネルギーなど、様々なかたちで再び私たちの生活の中で役立っています。

マテリアルリサイクル	プラスチックの原料として再資源化し、プラスチック製品等に再利用します。
ケミカルリサイクル(広義のマテリアルリサイクル)	熱や圧力を加え、ガスや油として再資源化し、燃料等に再利用します。
サーマルリサイクル	燃焼させることで、高い熱エネルギーを発生させ発電等に再利用します。

